

第2期

## 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

株式会社ガスバル中国

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
<b>流動資産</b>	<b>744,231</b>	<b>流動負債</b>	<b>499,100</b>
現金及び預金	216,814	買掛金	143,713
売掛金	332,124	リース債務	25,516
未収入金及び未収収益	846	未払金及び未払費用	68,126
製商品及び仕掛品	36,374	未払法人税等	193,728
原材料及び貯蔵品	7,717	預り金	9,025
繰延税金資産	28,744	賞与引当金	58,859
その他	121,610	その他	130
<b>固定資産</b>	<b>1,058,345</b>	<b>固定負債</b>	<b>749,459</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>890,224</b>	長期借入金	100,000
建物及び構築物	719,866	リース債務	83,078
機械装置及び運搬具	0	株式給付引当金	3,876
工具器具備品	1,487	資産除去債務	562,504
リース資産	168,871	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,248,559</b>
建設仮勘定	0	( 純 資 産 の 部 )	
<b>投資その他の資産</b>	<b>168,120</b>	<b>株主資本</b>	<b>554,017</b>
差入保証金	11,747	<b>資本金</b>	<b>110,000</b>
前払年金費用	7,038	<b>利益剰余金</b>	<b>444,017</b>
繰延税金資産	149,333	その他利益剰余金	444,017
		繰越利益剰余金	444,017
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>554,017</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,802,577</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,802,577</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### ① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品	最終仕入原価法による低価法
仕掛品	個別法による原価法
貯蔵品	個別法による原価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物	3～15年
工具器具備品	5～20年

#### ② リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充当するため、支給見込額を計上しております。

#### ② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（及び年金資産）の見込額に基づき計上しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度における発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定率法により按分した額を、発生した事業年度から損益処理しております。

### (4) 収益及び費用の計上基準

#### ① ガス事業売上高

検針基準

#### ② 完成工事高及び完成工事原価

工事完成基準

### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### ① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### ② 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 2. 当期純損益金額

当期純利益

320,331千円